



「おいも、うえたよ〜!!」



5月23日(木) さくら組のお友達は、桂幼稚園に行き、桂幼稚園のお友達と一緒にお芋植えをしました!! 中に入ると見た事のないおもちゃに大興奮のお友達や、新しいお友達との交流にちょっとドキドキなお友達も・・・。

畑に出る前にお遊戯室で朝の会をし、長靴を履いて、いざ畑に出発!!



この日は天気もとっても良く、「暑いね〜!!」と言いながらみんなでお芋を植えました。桂幼稚園の畑も広がってびっくり!!



「土のお布団沢山かけよう!」「大きなあれ!大きなあれ!」とみんなで頑張って植えました。



お芋植えの後は、みんなでパン給食を一緒に食べ、お遊戯室で沢山遊び、大満足の子も達でし

た。秋の収穫も楽しみだね!!



～「いただきます」「ごちそうさま」は感謝の気持ち～



普段、食事の時に当たり前のように使っている言葉ですが、どのような意味があるのでしょうか?言葉の意味を知ると、食事の際、使う時の気持ちも変わってくるかと思えます。(例年、お伝えしていますが、改めて今年度もお伝えします。)

「いただきます」は命をくれるものへの感謝のことばです。人間がものを食べるというのは、動物や植物の命をいただくということです。仏教の僧侶のことばで「あなたの命を私の命のためにいただきます」という意味からきています。食べ物への\*敬虔(けいけん)な気持ちを表す、素敵な言葉です。(他に語源としては「頂き」は「高いところ」を意味する言葉でもあり、上位の者から物を頂く際に、頭上に載せるような動作をして食事をしたことから、食事の挨拶として使われる言葉になったという説明もあります。)(\*敬虔(けいけん)・・・うやまい、つつしむ気持ちの深いさま。)

「ごちそうさま」は漢字では「ご馳走様」。昔はお客さまにごちそうを出す時には、あちらこちらを駆け回って食材を集めました。そんな大変な思いをして、食材を集めてくれた人への感謝の気持ちを表す言葉が「ごちそうさま」です。

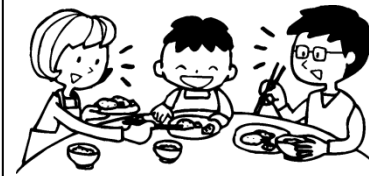
どちらも「感謝」の思いが込められた言葉ということがわかります。大切にしたい言葉ですね。お家でも家族みんなで、あいさつを心がけましょう。



一緒に「おいしいね」の大切さ。

「おいしいね」

にっこり、「おいしいね」と話しながら食事をする。同じ食べ物でも、誰かと一緒に仲良く食べると、一人で食べる時よりもおいしく感じるのは、大人も同じですよ。



「食べてみようかな」

自分の好きな食べ物ではなくても、身近な大人やお友達がおいしそうに食べている姿を見て、「ちょっと、食べてみようかな」と思うきっかけができるかもしれません。

ぜひ、ご家庭でもお子さんと一緒に「おいしいね!」と話しながらの食事を楽しんで下さい。

